



迎春

謹んで新年のごあいさつを申し上げます

心に響く美しい村

高山村長

荒木 毅



明けましておめでとうございませう。

村民皆様には、ご家族お揃いで健やかなうちに新春を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。昨年は、公私にわたり大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて平成二十四年を振り返ってみますと、夏の猛暑とそれに続く残暑が印象深かったように思います。比較的標高の高い当村においては、夏の暑さがそのまま豊作につながると言われてきましたが、昨年の農産物価

格は風評被害などもあり、やや物足りない点が見られました。今年こそ豊年満作を喜べる年にしたいと思えます。そういった中ですが、村の特産品に生長したリンドウなどの花卉類は堅調に推移し、お米も品質の良いものが収穫できました。コンニャクも作柄、価格ともまずまずだったのではないかと考えます。私共の高山村は、農業を抜きにしては語ることはできません。すべての関税撤廃を目指すTPP参加については、是非慎重に対処しよう今後とも国、県に強く要望して参ります。

村の所有する観光施設「ふれあいプラザ」等については、昨年四月から（株）たかやま振興公社に運営が移りました。不況で客足がにぶる中ですが、何とかして村内外のお客様に喜んでいただけるよう、今年も頑張っていきたいと思えます。構想中の「道の駅、中山盆地」については、新設する侵入道路の関係でやや遅

れています。本年はこれをスピードアップしていかねければなりません。中山盆地全体を「道の駅」として考え、その拠点づくりというコンセプトですが、これにより往時の中山宿の賑わいを取り戻し、更に村全体の活性化を図って参りたいと思えます。

景気対策、若者定住対策として創設した住宅リフォーム補助事業ですが、当初の予想を上回るご利用をいただいております。太陽光発電システム補助や、薪ストーブ設置補助などもありますので、併せてご検討いただければと思います。懸案となっている放射性物質の除染ですが、国の方針がなかなか定まらず、対象地の皆さんにご心配をお

かけしてはいますが、本年は具体的作業に着手して参ります。仮置き場も確保しましたので、一カ所で管理することができるようになりました。

村の特色ある教育事業として、すっかり定着した中学生海外派遣事業ですが、昨年私も七年ぶりに同行いたしました。中学生皆さんの何かを吸収しよう、学ぼうという積極的な姿勢や、その潑刺とした様子に私も多くのものを学ばせていただきました。改めて「村づくりは人づくり、人づくりは教育から」の思いを再確認しております。

るさと協力隊二年目の「地域おこし支援隊」の方々にも、一生懸命頑張っていたいただきました。新しい高山村を構築していくべく、本年も更なる事業の推進を図って参ります。

明治二十二年、高山村が誕生し、本年で百二十四年になりました。その間、様々な苦難もありましたが、多くの先人皆様のご苦勞の賜物として、今は大変交通の便に恵まれた村になることができました。今後はそれに甘えることなく、更に自身の充実を図っていかなくてはなりません。「たがやそう高山村」は私が就任以来皆様と呼びかけてきたことですが、その目指すところは「心に響く美しい村」であります。

本年も村民皆様と共に、一步一步堅実に、そしてより高いレベルの行政執行を心掛けて参ります。年頭に当たり変わらぬご指導とご鞭撻の程をお願い申し上げますと共に、村民皆様にとって、今年一年がよ

年頭に当たって

高山村議会議長

平形 富二夫



新年明けましておめでとうございませう。

村民皆様には、ご家族お揃いで平成25年の新春を迎えることと心よりお慶び申し上げます。

平成25年の年頭にあたり、高山村議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、新年早々に東日本大震災で発生したがれき

処理の受け入れに向けた動きが、吾妻東部衛生施設組合で始まりました。3町村全員協議会を開催し、住民説明会や現地視察が行われ、がれきを被災地から搬出する際には、放射線量の測定や有害物質の除去を行い、国の安全基準を満たしたものを受け入れ、受け入れ後も放射線量の測定や焼却灰、排ガスなどの検査結果を公表し、安全性を確実に確認することで、岩手県宮古市の、がれきの受け入れを開始しました。

宮古市の現地視察に高山村より村長と2人で参加しました。被災地の方は、「ただのゴミの山に見えるかもしれないが、被災者にとっては非常に重い物で、撤去されることで初めて復興が始まる。」と話していただきました。

私も現地を視察し、大きながれきの山を見た時には、がれきを撤去しなければ被災者の心の傷は治らないと強く感じました。また、村

を確認してもらったため、宮城県南三陸町を訪れボランティア活動と併せて視察を行ない、復興支援の必要性を再確認し、全員が心を一つにして視察を終えました。

国内では、長引く景気の低迷に加え、歴史的な円高やデフレなどの影響から経済、雇用情勢は悪化し、地域の活力は減退の一途をたどっています。

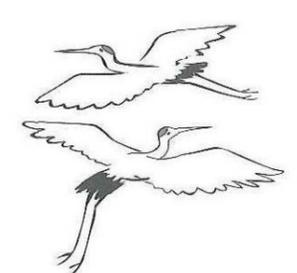
さらに、東日本大震災における社会的、経済的な影響は、被災地のみならず我が国社会全体に及んでいます。こうした中であって、町村は、以前に増して厳しい立場に立たされています。このような状況を打開し、地域を再生するには、東日本大震災の復興を引き続き集中的、積極的に実施するとともに、自治能力を高め、都市と農山漁村が共生しうる社会の構築を強力に進めていくことが重要ではないでしょうか。

村内では、急速な少子高齢化により、年々人口減少が進んでいます。その対策として若年層の定住化目的で宅地造成工事が完成し、若年層の申し込みを受付中です。

また、若者が一人でも多く村内で仕事ができるように企業誘致を積極的に進めてまいります。

今、村では大きな事業として「道の駅」構想が進んでいます。村の構想は、現有施設高山温泉ふれあいプラザの一部を活用し、複合施設として農産物直売所を併設させ、村のグリーンツーリズムの中心施設と位置づけ、産業振興、情報文化の発信基地とすることを目的として進められています。

高山村議会では、平成24



年に村と協力し、群馬県内5カ所、県外3カ所の「道の駅」の行政視察を行いました。「道の駅」の整備がもたらす地域振興、活性化に果たす役割について調査研

究を行い、その結果について村執行部へ提言することを目的として活動してまいりました。

今年も全議員が力を合わせ、村民皆様が高山村に住んでいて良かったと思えるような村づくりに頑張つて

行きますので、今後もお指導とご協力をお願い申し上げます。

と共にも、ご多幸とご健勝をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

年頭に当たって

高山村教育委員会

教育長 高橋 直幸



新年あけましておめでとうございます。

村民皆様にはご家族お揃いで平成二十五年の新春を健やかなうちに迎えられることと、心よりお慶び申し上げます。

旧年中はひとかたならぬご指導とご鞭撻を賜り、誠にありがとうございました。

おかげさまで前任者から引き継ぎました高山村の教育行政を進めてくることができました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、ロンドンからの熱い映像に一喜一憂しながら、日本人選手の活躍に国を挙げて声援を送っていたことが思い起こされます。「なでしこジャパン」の強さと明るさ、オリンピックや世界大会で連覇を続けている吉田選手の強さ、メダリスト全員に共通している最後まであきらめない姿は、ともするとふさぎ込みがちな日本の社会全体に元気と勇気を与えてくれた、と感じたのは私だけでしょうか。

「絆」という言葉もたくさん聞き、社会全体の在り方

について改めて考えさせられる言葉になりました。家庭、地域、職場など、様々な場面において人と人とのつながりがいかに大切なものであるか、人を思いやること、がどれほど相手の心に響くものであるか、痛感させられる場面もたくさんあったと思っております。学校教育や社会教育においても絆が大切にされ、学校や地域の中で絆が意識されることにより、それぞれの場でもより良い人間関係が生み出されていくものと考えます。

元気と勇気をもって、高山村に培われてきた絆の強さに支えていただきながら、社会の変化や教育界の潮流をしっかりと見据えた教育行政を執行していく所存ですのでご指導のほどよろしく

お願い申し上げます。

お願い申し上げます。

村内の様子を振り返ってみると年度当初に計画されていた事業が円滑に進められていくと考えています。

特に、幼小中の校（園）舎内外の改修、コンピュータの整備、暖房機等の更新等に取組んでまいりました。小学校においては第二期改修工事として、村議会をはじめ村民の皆様にご理解をいただき中で、工事を実施させていただきました。暖かい教室や清潔なトイレなど、子どもたちにとつてより生活しやすく、学びやすい環境が整えられたことに深く感謝申し上げます。

熱中症・不審者等々、村民子どもたちを取り巻く環境には厳しいものがありますが、大事に至ることなく

推移しており、関係各位のご尽力の賜と厚くお礼申し上げます。

平成二十五年度も知恵を出し合いながら諸課題の解決を図るとともに、村民・子どもたちのために教育行政推進を目指す決意です。でよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

本年が村民皆様にとつて幸せに満ちた、充実した年となりますよう祈念申し上げます。

